

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 ( Roselle Association Club 4 )

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			必要面積を確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適正な人員配置を行うよう配慮している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関先のみ段差はあるが、必要に応じてスロープを使い対応する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			職員ミーティングによって多数の意見を取り入れている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者評価表を行うように努めます。
	⑥	この自己評価表を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページにて公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			他法人からの模擬実地監査を行い、業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			県及び市町村の研修・法人内研修・事業所内研修を行い参加できなかった職員にも日々のミーティングにて共有している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			県推奨のえいぶるを使い必要部分内での細かいアセスメントが行えるようになっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			保護者・学校などから情報を集め、日々の変化を記録ができるステップ記録を作成し定期的な子どもの成長状態を記録している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			日々のミーティングにて話し合い、運動プログラムを効率的に行えるよう案を出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			平日の短時間利用用に運動プログラムを使い、学習や絵画・散策を取り入れて行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日の短時間利用用に運動プログラムを使い、学習や絵画・散策を取り入れて行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			計画は保護者、利用者のニーズに合わせて作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			短時間ミーティングを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		送迎等により集まってミーティングをする事が出来ないが、気づきなどを管理者に報告し翌日のミーティングに出し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			連絡帳・日誌・ステップ記録を記入。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			計画更新以外にも日々の利用者記録を基に計画通り行っているか、また計画があっているかを問う声掛けをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	<input type="radio"/>			計画を基に支援は行っており、計画は子どもの最善の利益を中心に作成されている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児発管もしくは児童指導員などの管理補佐で参加。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調	<input type="radio"/>			学校が早く終わった場合は担任の先生より情報をいただき柔軟に対応している。

関係機関や保護者との連携	②①	整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			情報と連携して柔軟に対応している。 家庭でも同じである。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケアが必要な利用者は居ない。 重要事項説明書内に主治医を書く欄を設け必要な時は主治医と連携できるようにすべての利用者に適用。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		定期的にエイブルに記載し、情報提供が出来るように努めている。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関を連携し、助言や研修を受けているか	○			中部療育センターなどからも指導を求めたり、専門機関が開催する研修の受講している。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近くの公園で交流して遊ぶことが多い。 地区公民館の足湯へ行ったり交流が出来るように努めている。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			所在地市町村の競技会へは参加している。 今後、近隣市町村の情報が入るようにしたい。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に当日あった事や近況報告を行えるように職員指導を行っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			学校や関係機関とのコミュニケーションがスムーズに行くようにサポートしています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			社用携帯の番号を知らせ、時間外でも電話できる事を伝えている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			法人単位で、保護者会を開催している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			イベントや行事についてお知らせを発行している。その都度、送迎にて伝えている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			最大の注意を行い、各職員にも指導をしている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせ対応している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			日々の地域住民とのあいさつを通じ気軽に話せる場を作っている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルをファイリングしている。 ピックアップして気になる場へ掲示している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災・緊急時に見取図が必要となるケースが多いため、玄関に平面図を置き訓練時を持って出るようにしている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	○			研修の参加と伝達ミーティングはセットで行う。早期発見に努め、様子などを日頃から市・相談・学校と話し合っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			命の危険性がある場合の制止を除き身体拘束は許されていません。 マニュアルを作成し周知している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○			日誌表紙に大きく掲示し、食事の際には職員一人一人復唱して気掛けている。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所が出来て日が浅い事と先読みして職員が動くためヒヤリハットの枚数が少ない。同法人のヒヤリハットの複製を集め想定されることを話し合う場を作っている。	